

池袋のまちの下にも、古代の暮らしがある——土器を観察し、クッキーで再現する体験型ワークショップを7月25日に開催

「縄文アートクッキーを作ろう!～作って学ぶ豊島の文化体験～」IKE・Biz としま産業振興プラザにて

池袋駅からほど近い会場で、土器を観察し、その形や文様をクッキーで再現する体験型ワークショップが開かれる。主催は、文化財の保存・活用支援に取り組む NPO 法人「文化財保管活用支援機構(CPSUS)」。

豊島区内には多くの遺跡が残されており、普段歩いているまちの下にも古くからの人々の暮らしがある。本ワークショップでは、本物の土器片の観察と豊島区の歴史解説、クッキー制作を組み合わせ、子どもから大人までが身近な地域の歴史に親しむ機会をつくる。

参加者はまず土器片を観察し、形や文様の特徴を観察シートに記録。その後、気に入った特徴をクッキー生地で表現し、一人ひとり違う縄文アートクッキーを焼き上げる。講師は CPSUS 理事長の岡村真由。対象は小学5年生以上～大人、定員15名。豊島区民割引(1,500円→1,000円)あり。文部科学省・豊島区教育委員会ほかが後援する。

参考:同形式ワークショップの開催実績(2025年・広島市)

参加者21名 | アンケート「大変満足」回答率90%以上

「本物の土器に触れて感動した」「観察から創作につながる流れが面白かった」

主催者コメント

「池袋は商業のまちという印象が強いかもしれませんが、豊島区にも古くから人が暮らしてきた歴史があります。土器を観察し、その特徴をクッキーで再現する体験を通じて、身近なまちの歴史に親しむきっかけになればうれしいです。」

岡村真由 特定非営利活動法人文化財保管活用支援機構(CPSUS)理事長・当日講師

当日撮影・取材いただける主な場面

- 本物の土器片を手に取り観察する参加者の様子
- 焼き上がった縄文アートクッキーが並ぶ様子
- 形や文様を観察シートに記録する場面
- 参加者の試食・感想インタビュー
- クッキー生地で土器の特徴を再現する制作風景
- 岡村理事長へのコメント取材

撮影おすすめ時間帯:14:00～15:30(観察シート記入・クッキー制作・試食の一連の流れを撮影いただけます)

開催概要

イベント名	縄文アートクッキーを作ろう!～作って学ぶ豊島の文化体験～
日時	2026年7月25日(土)13:30～16:00(受付13:00～)
会場	IKE・Biz としま産業振興プラザ 調理室 東京都豊島区西池袋2-37-4
対象・定員	小学5年生以上～大人 15名(お一人でも親子でも参加可)
参加費	1,500円/名 ※豊島区民割引あり(1,000円)
申込期間	2026年6月27日～7月12日(定員に達し次第締切)
主催	特定非営利活動法人文化財保管活用支援機構(CPSUS)
助成	公益財団法人としま未来文化財団(令和8年度としま文化応援団事業活動助成)
後援	文部科学省、豊島区教育委員会、公益社団法人日本文化財保護協会、観光考古学会

講師プロフィール

岡村真由 | 特定非営利活動法人文化財保管活用支援機構(CPSUS)理事長
元公益社団法人日本文化財保護協会事務局長。考古検定「過去問題集 新版」の企画・編集など、文化財・考古学分野の普及啓発に携わる。2023年「ウーマンズビジネスグランプリ in 品川」グランプリ受賞。現在は CPSUS 理事長として、文化財の整理・保管・活用支援と体験型ワークショップを行う。

取材・お問い合わせ先

特定非営利活動法人文化財保管活用支援機構(CPSUS) 担当:岡村真由

TEL:03-6555-4287 MAIL:okamura@cpsus.org

https://www.cpsus.org

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1丁目7番8号 VORT 秋葉原IV 2F

取材対応について

- ・当日取材・事前掲載に対応可能
- ・写真データの提供可(事前申請要)
- ・参加者撮影は同意確認の範囲内で対応